しまねの道づくり

基本理念

『地域』をつなぎ、『ひと』をつなぎ、『いのち』をつなぎ、
未来につなぐしまねの道づくり

島根県の目指す将来像
「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」
の実現に向け、
この基本理念や3つの観点のもと、
5つのテーマ・9つの施策に取り組んでいきます。

道づくりの観点

優先度や整備期間を考慮しながら、
整備箇所の選択と予算の集中を徹底し、
早期に効果を発揮させます。

急速に進行する老朽化への対策や、
相次ぐ自然災害から命を守る防災・安全対策への
投資割合を高めます。

既存の施設を有効活用し、
最小限の投資で最大の効果を生み出します。



取り組みテーマ

テーマ1 県土の活力向上と経済発展につながる高速道づくり

施策 1-1. 高速道路ネットワーク等の早期整備
施策 1-2. 安全・快適に走行できる高速道路の整備

テーマ2 地域の魅力・活力を高める道づくり

施策 2-1. 高速道路と一体となり県土を支える骨格幹線道路ネットワークの整備
施策 2-2. 住みよく、魅力あふれる地域づくりを支援する道路の整備

テーマ3 災害に強く、安心な地域を支える道づくり

施策 3-1. 落石や斜面崩壊に対する道路防災対策の推進
施策 3-2. 災害時に人・物資の輸送を安全に行うための道路防災対策の推進

テーマ4 地域を支えるインフラを未来につなぐ道づくり

施策 4-1. インフラ老朽化対策の推進
施策 4-2. 道路の日常的な維持管理の充実と効率化

テーマ5 歩行者・自転車等の安全性を高める道づくり

施策 5-1. 交通安全対策の推進

テーマ1 県土の活力向上と経済発展につながる高速道づくり

高速道路の整備効果

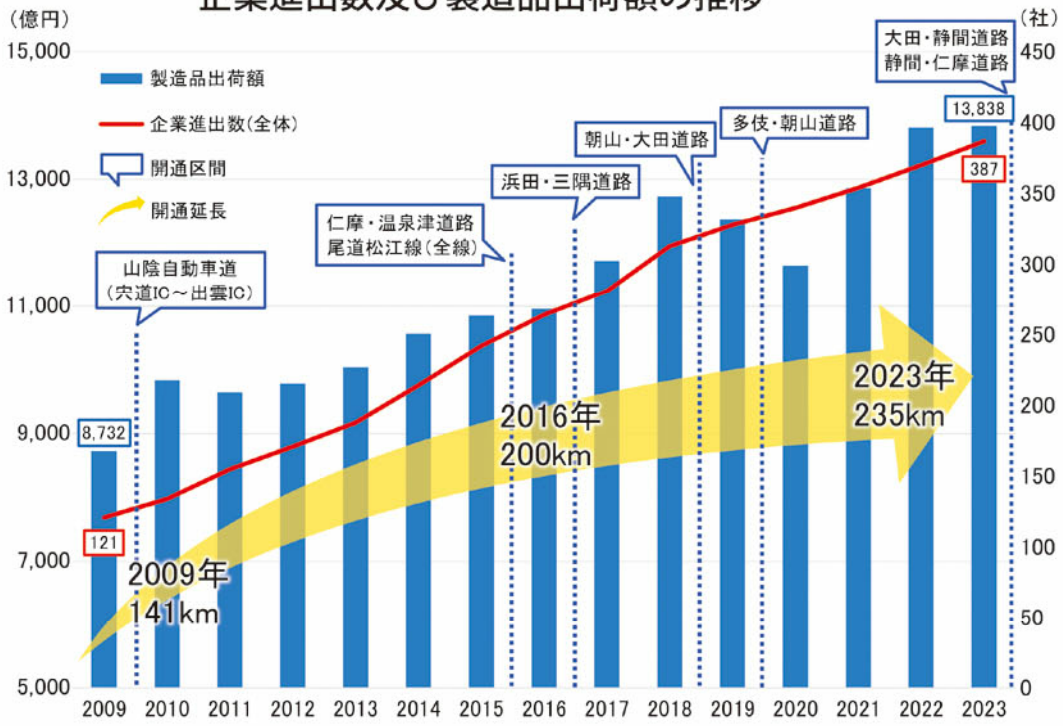
高速道路の開通による生産性向上

高速道路の開通に伴う生産性の向上や民間投資の誘発により、製造品出荷額及び進出企業数が増加

山陰自動車道（宍道IC～出雲IC）開通前（2009年）と比較すると

- 県内の企業進出数が**266社**増加
- 製造品出荷額が**約5,100億円**増加

島根県内における高速道路沿線地域の企業進出数及び製造品出荷額の推移



高速道路（有料区間）の4車線化等の推進

- 優先整備区間※の早期4車線化の推進
- 対面通行区間における当面の緊急対策として、安全対策を推進



ネットワークの代替性の確保



4車線化や付加車線整備が必要

はみ出し事故の防止

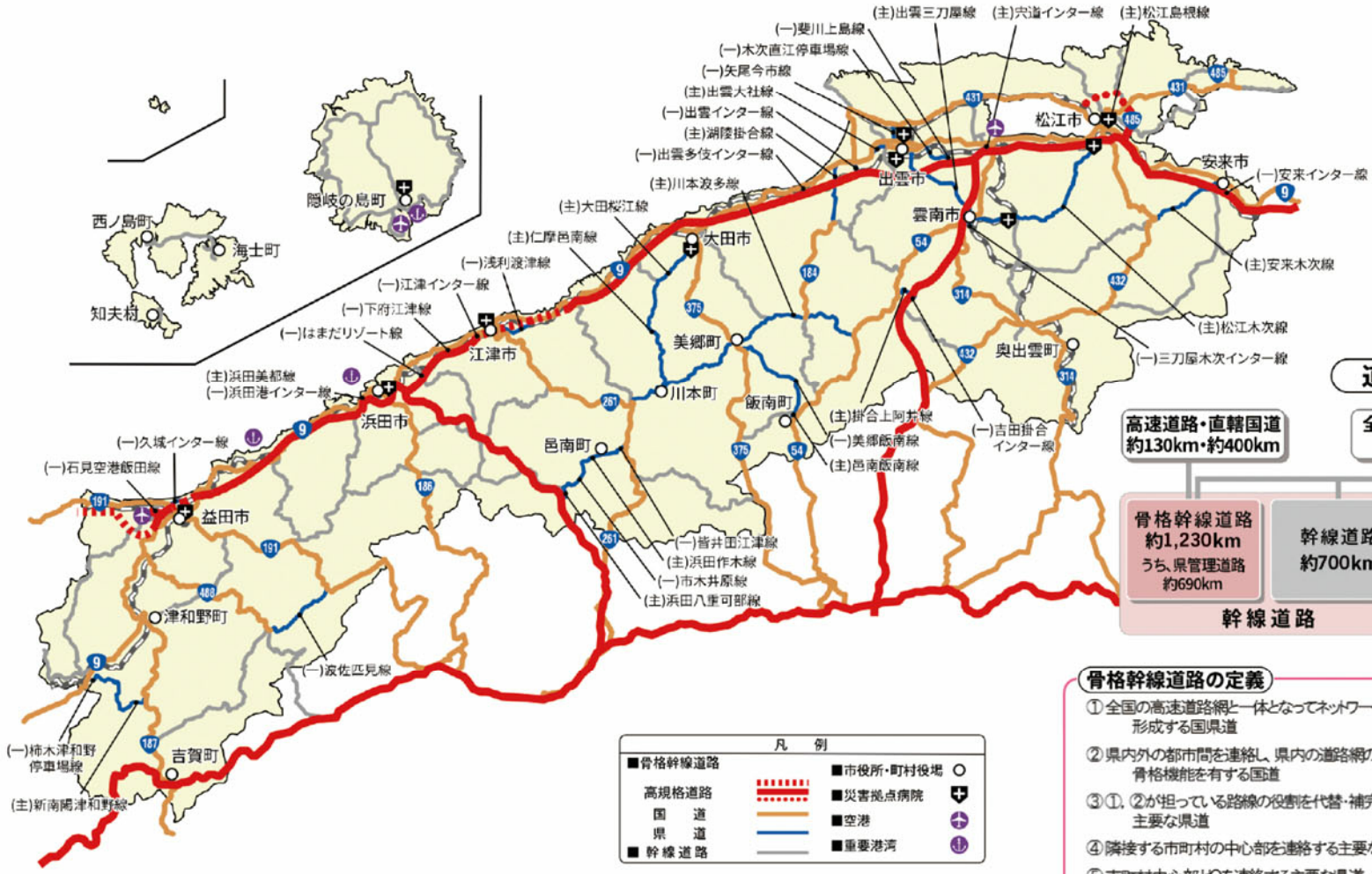


4車線化やワイヤロープ整備が必要

テーマ2 地域の魅力・活力を高める道づくり

骨格幹線道路の整備

高速道路整備によるストック効果を早期に全県に波及させるとともに、災害時や緊急時の輸送路として重要な役割を担う道路を『骨格幹線道路』に位置づけ、優先的に整備します



道路の分類

高速道路・直轄国道 約130km・約400km	全ての県管理道路 約2,990km	
幹線道路	骨格幹線道路 約1,230km うち、県管理道路 約690km	幹線道路 約700km
生活関連道路	生活関連道路（優先整備区間） 約850km	生活関連道路（その他区間） 約750km

※令和6年4月1日現在

骨格幹線道路の定義

① 全国の高速道路網と一体となってネットワークを形成する国県道
② 県内外の都市間を連絡し、県内の道路網の骨格機能を有する国道
③ ①、②が担っている路線の役割を代替・補完する主要な県道
④ 隣接する市町村の中心部を連絡する主要な県道
⑤ 市町村中心部とICを連絡する主要な県道



テーマ3 災害に強く、安心な地域を支える道づくり

緊急輸送道路ネットワーク計画

緊急輸送道路ネットワークの安全性・信頼性の向上を図るための防災対策、橋梁の耐震性強化等の震災対策を計画的に推進します。

【緊急輸送道路ネットワークの分類】

ネットワークは震災後の利用特性により、以下の3つに区分します。

① **第1次緊急輸送道路ネットワーク**

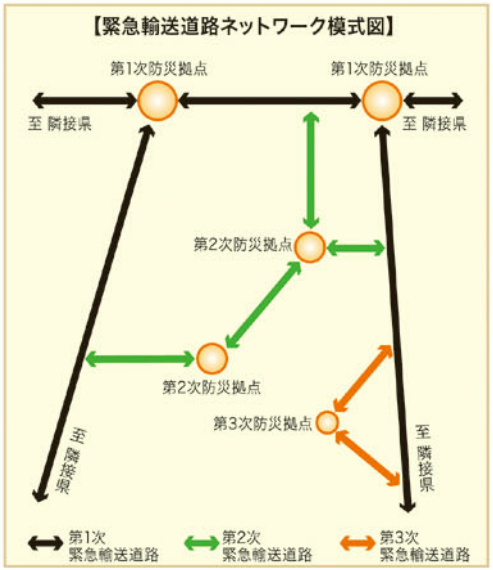
県庁所在地、地方中心都市庁舎及び空港、重要港湾、災害拠点病院等を連絡する道路網。

② **第2次緊急輸送道路ネットワーク**

第1次緊急輸送道路と町村役場、主要な防災拠点（行政機関、公共機関、主要駅、港湾、ヘリポート、災害医療拠点、自衛隊等）を連絡する道路網

③ **第3次緊急輸送道路ネットワーク**

第1次及び第2次緊急輸送道路と上記以外の地震防災対策上重要な施設を連絡する道路網。



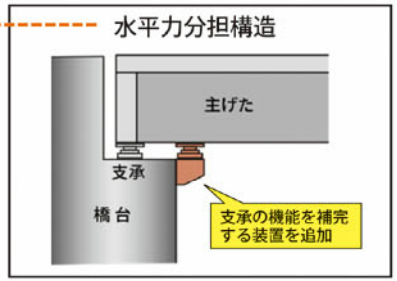
橋梁の耐震補強

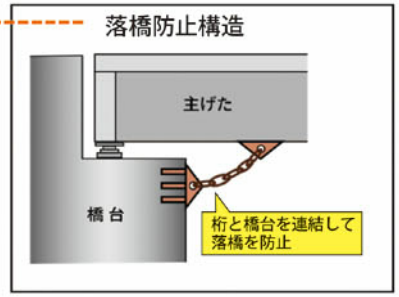
地震時の安全な通行を確保

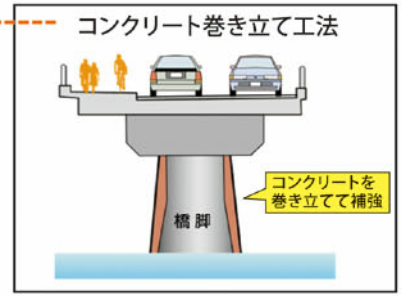
緊急輸送道路上にある橋梁で、平成8年より古い道路橋示方書で建設された、橋長15m以上かつ複数径間の橋梁について耐震補強を実施しています。



（主）松江鹿島美保関線　小女良橋（松江市）



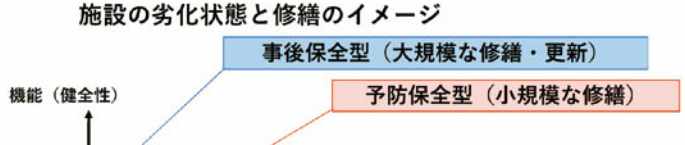


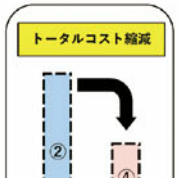


テーマ4 地域を支えるインフラを未来につなぐ道づくり

インフラ老朽化対策の推進

橋梁・トンネル等の道路施設について、計画的な点検、適切な診断と早期の修繕に努めて、維持管理費用の縮減と長寿命化を図ります。



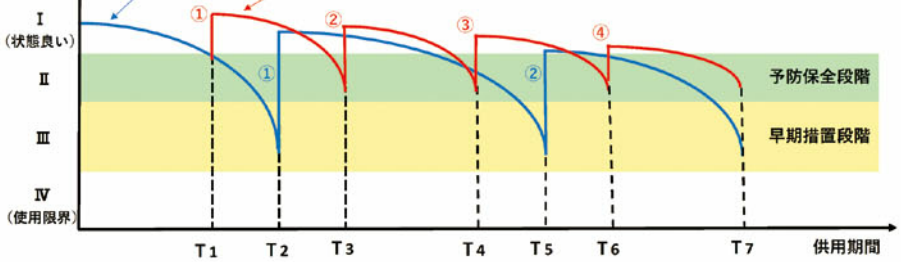


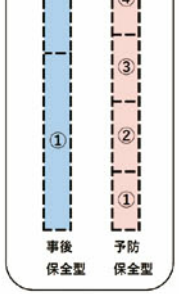




錆びた横断歩道橋の再塗装

健全性の区分





健全性区分		状　態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

道路の日常的な維持管理の充実と効率化

●舗装修繕



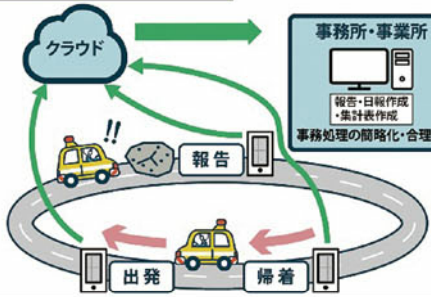
●除雪



●路面清掃



●維持管理の効率化



道路パトロールの記録や日報作成を自動化するスマートフォンアプリなどにより、現場やパトロール後の作業負担を軽減し、効率的な巡回を行います。

テーマ5 歩行者・自転車等の安全性を高める道づくり

交通安全計画

【交通安全対策の推進】

・歩行者・自転車の安全な通行空間を確保するための対策を講じます
・既存の道路空間を有効活用し、早期に効果を発現できる手法も検討します
・通学路・駅・公共施設周辺のコミュニティ道路や一定の交通量がある区間を優先して整備することとし、関係機関や地元住民と連携しながら対策を進めます

●歩道・自転車歩行者道の整備　無電柱化との組み合わせにより安全な通行空間を確保



（一）本庄福富松江線（松江市）

●歩車共存道の整備　車両の通行幅を狭め、カラー舗装を行う等車両速度を抑制し、安全な歩行空間を確保



（主）玉湯吾妻山線（奥出雲町）



（一）池田中町線（隠岐の島町）

●関係機関との連携

平成25年より各市町村で通学路の連絡会議を毎年実施し、危険箇所の確認や対策内容の検討を行っています



通学路の合同点検の様子

